



安武真佐子さん

身体でリズムを表現し、タップ・シーソーズで音を刻むリズム・タップ。そんな「音楽とダンスの総合芸術」であるタップの魅力にひかれた安武真佐子さん(マーサメリー主宰)は、「聖公会・聖愛教会員」ではなく、多くの人にタップの魅力を知ってもらおうと「タップダンスライブ」を企画。7月12日にばプロの「タッパー」を招き、東京で「タップダンス」を披露。「Tam Tam Tap Vol.1」を開催した。

◇  
「『タップって、ダン

きが出会いの場を作りた  
んだぞ、日本人ミ

## 「タップの魅力」たっぷり

「Tam Tam Tap Vol.1」企画者 安武真佐子さん

「スドショ」という人が多いです。映画で見たイメージなんですね。説明するより、本物を見て感動しなければダメだと思

うになりました」と

Tam Tam TapのTamはTap As Musicの略で、音楽が込められてるね。

安武さんは、ひいおばの出会いは5年前、タップ・インストラクターの講座を受けたから。後、音楽業界の世界に入り、アーティストの甲斐よしひろさ

ーク・レコーディングの通訳兼コーディネーターを担当。帰国後はアーティストの佐野元春さんのマネージャーとして活動

し、現在はその経験を生かし、「素敵な出会い」

をコーディネートする

日々

で企画・コーディネートの仕事をしてきた経験を

もつ。米

州ハイデ

ルベル

音楽

学部ピアノ科卒業

や、タップダンサーAS

A.K.I率いる5人組のM

—BEATなど、一流的

タッパーが芸術的なタッ

プ・パフォーマンスを披露。「初めてリズム・タ

ップを見た」という人も

その華麗なステップに驚

いた。

安武さんは、ひいおばの神様からの贈り物だと語る。「初めてタップを見て、神の愛を感じた」と言う人もいたんですね。プロのタップを通して、神の創造のすばらしさを感じほしいですね」

次回、Vol.2(マーサメリーライブ)は11月15日に開催。入場料前売り2千800円(当日3千300円)、ドリンク代含む。問い合わせはEメールmas

mary@ss.iij4u.or.jp、  
マーサメリーライブ

ファイナーレではタッパー全員が華麗なステップを披露

